

令和7年12月1日

対馬市議会議長 春 田 新 一 様

決算審査特別委員会
委員長 大 浦 孝 司

委員会審査報告書

令和7年第3回定例会において本委員会に付託された事件は、閉会中の継続審査の結果、次のとおり決定しましたので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

1. 付託事件

| 事件番号 | 件 名 | 審査の結果 |
|-------|---------------------------|-------|
| 認定第1号 | 令和6年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について | 認 定 |

2. 審査の概要

- (1) 審査月日 令和7年9月26日、29日、30日（3日間）
- (2) 審査場所 対馬市議会議場
- (3) 欠席委員 9月26日：波田委員
9月30日：波田委員

3. 審査の経過 別 紙

【別紙】

審査の経過

令和7年第3回対馬市議会定例会において、会議規則第37条の規定により本委員会に付託され、閉会中の継続審査としておりました〔認定第1号〕令和6年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定については、審査の結果、賛成多数により、原案のとおり認定すべきものと決定しましたので、同規則第110条の規定により報告いたします。

本委員会は、令和7年9月26日から29日、30日までの3日間にわたり、対馬市議会議場において、各担当部長、課長等の出席を求め、詳細にわたり説明を受けながら、慎重に審査を行いました。

令和6年度の一般会計の決算額は、歳入342億424万円、歳出334億5,915万9千円で、前年度と比較するとそれぞれ8億6,258万8千円（2.6%）、11億52万円（3.4%）の増であります。

歳入歳出ともに増となっておりますが、これは普通建設事業費及び物価高騰対策関連事業が増加したことが主な要因であります。

歳入の主な構成は、地方交付税143億25万円（構成比41.8%）、市債38億9,140万円（構成比11.4%）、国庫支出金52億4,221万8千円（構成比15.3%）、自主財源の柱である市税については、30億5,294万5千円（構成比8.9%）で、昨年比1,976万8千円（0.6%）の減であります。

歳出の主な構成は、補助費等46億4,919万9千円（構成比13.9%）、普通建設事業費72億9,228万4千円（構成比21.8%）、物件費54億3,328万円（構成比16.2%）、公債費48億883万6千円（構成比14.4%）、人件費47億4,194万6千円（構成比14.2%）となっております。また、人件費、扶助費及び公債費のいわゆる義務的経費は、136億6,717万1千円で歳出全体の40.8%を占めております。

令和6年度に実施した重点施策のあらましについては、①ひとづくり②なりわいづくり③つながりづくり④ふるさとづくりであり、数多くの事業が実施されておりますが、特に有人国境離島法に関連する「運賃低廉化事業」及び「輸送コスト支援事業」については、島民の多くの方々が身近に恩恵を被っているところであります。しかしながら、同法は時限立法であり、令和9年3月末で10年目を迎え終了することとなります。今後国会での継続審議採択が実現する旨の運動展開に大いに期待するものであります。

最後に、審査のうえで指摘・改善事項等もございましたが、本市を取り巻く経済状況は楽観するようなことではございませんが、厳しい状況の中、市民の所得向上に全力を傾注し、強いしまづくりを目指して頂きたい。

また、自治体の運営も少数精鋭の時節を更に迎えると思われるが、本市が輝く集団であることを望むものであります。

以上で、決算審査特別委員会の審査報告といたします。